

学位論文審査結果の要旨

所 属	三重大学大学院医学系研究科 甲 生命医科学専攻 臨床医学系講座 循環器・腎臓内科学分野	氏 名	いしやま まさき 石山 将希
審 査 委 員	主 査 高尾 仁二 副 査 笠島 茂 副 査 鈴木 秀謙		
<p>(学位論文審査結果の要旨)</p> <p>Impact of Helicopter Transport on Reperfusion Times and Long-Term Outcomes in Acute Myocardial Infarction Patients in Rural Areas: A Report From the Mie Acute Coronary Syndrome Registry</p> <p>【主論文審査結果の要旨】</p> <p>著者らは論文において下記の内容を述べている。</p> <p>【背景】</p> <p>急性心筋梗塞における冠動脈再灌流療法は、患者の予後を改善するために可及的すみやかに行われる必要がある。ヘリコプターによる救急搬送サービス（Helicopter Emergency Medical Service、以下 HEMS）の有効性は、本邦において脳卒中や外傷において報告されているが、急性心筋梗塞患者のヘリコプター搬送に関する予後データは報告されていない。</p> <p>【目的】</p> <p>三重県の遠隔地域における急性心筋梗塞患者に対するヘリコプター搬送の臨床的効果を検討する。</p> <p>【方法】</p> <p>県内15施設での多施設共同登録研究である三重ACSレジストリーから得られたデータを用いて、2013年1月から2017年12月までの期間に、急性心筋梗塞に対して経皮的冠動脈形成術（PCI）を施行された2,681名のうち、HEMSまたは救急車を用いた陸路搬送による救急医療サービス（Ground Emergency Medical Service、以下GEMS）を使用して過疎地域からヘリコプター基地病院に搬送された163名の患者を、PCI施設まで直接搬送された直接搬送群（Direct群）、転院搬送を要した群（Inter-hospital群）に分類をした（Direct-HEMS : n= 52、Direct-GEMS : n= 54、Inter-hospital-HEMS : n= 32、Inter-hospital-GEMS : n= 25）。主要評</p>			

価項目は、救急覚知時間から再灌流までの所要時間とした。副次評価項目は、2年間の主要心血管イベントおよび入院加療を要した脳血管障害(Major Adverse cardiac or cerebrovascular event、以下MACCE)とした。

【結果】

Direct-HEMS群はDirect-GEMS群よりも有意に年齢が若く($p=0.029$)、救急覚知時間から再灌流までの所要時間は、Direct-HEMS群およびInter-hospital-HEMS群で各GEMS群よりも有意に短かった ($p=0.015$ および $p=0.046$)。2年間のMACCEの発生率は、Direct-HEMS群およびInter-hospital-HEMS群で各GEMS群より低い傾向がみられた。

本論文はヘリコプターによる搬送は三重県の過疎地域における急性心筋梗塞患者の再灌流までの時間を短縮することを示し、予後の改善につながる可能性を示唆した論文であり、学術上極めて有益であり、学位論文として価値あるものと認めた。

Air Medical Journal

Published:2021 May 30

doi:10.1016/j.amj.2021.05.001

Masaki Ishiyama, MD, Tairo Kurita, MD, PhD, Akihiro Takasaki, MD, Takeshi Takamura, MD, PhD, Jun Masuda, MD, PhD, Ken Ishikura, MD, PhD, Tetsuya Seko, MD, PhD, Morimichi Setsuda, MD, PhD, Atsunobu Kasai, MD, PhD, Hiroshi Imai, MD, PhD, Kaoru Dohi, MD, PhD